

社債を発行して 資金調達した場合は？

慣れないうちは取引があったとき、どんな勘定科目で処理すればよいのか、悩むケースもあるでしょう。そうした勘定科目の取扱いについて、新人さんと一緒に、事例をもとに学んでいきましょう。



新人さん：〇〇社は、第二工場の建設予定計画があるって聞きました。この時代にすごいですね。

先輩：そうだな。ただ、かなり大きな工場のようなから、自前の資金だけではなく、別途、資金調達も必要になってくるだろうね。

新人さん：資金調達ってことは、銀行からお金を借りるってことですか？

先輩：銀行から融資のケースが多いかもしれないが、ほかにも資金調達の方法はあるからね。

新人さん：銀行融資以外にも資金調達の方法があるんですか？

先輩：ああ、投資家向けに社債を発行する方法や、新株を発行するなんて方法もあるね。

〇解説

「社債」とは、広く一般から資金調達をするために、

将来の一定の期日に一定の金額を償還することを約束した社債券という有価証券を発行することによって発生する金銭債務を処理する勘定科目です。

社債の発行方法には、額面による平価発行と、額面より低い金額で発行する割引発行、額面より高い金額で発行する打歩発行があります。

社債は、債務額をもって貸借対照表価額としますが、社債を社債金額よりも低い価額または高い価額で発行した場合は、償却原価法によって算出された価額をもって貸借対照表価額としなければなりません。

償却原価法とは、券面額と発行価額の差額に相当する金額（社債発行差金）を、償還期間まで每期一定の方法で社債の貸借対照表価額に加減する方法です。

したがって、従来、繰延資産として取り扱われてきた社債発行差金に相当する額は、社債金額から直接控除することになります。



ケース1 社債を発行した場合

3月決算のA社は、×0年4月1日に、券面額1億円（発行価額：額面100円につき95円）の社債を発行した。償還期間は5年、利率は2%（利払い年に1回）で、手取り額は普通預金とする。

【借方】 普通預金 95,000,000 / 【貸方】 社債 95,000,000*1
*1 95,000,000円=100,000,000円×（95円/100円）

ケース2 利息を支払った場合

×1年3月31日、ケース1の社債の利息を普通預金口座から支払った。

【借方】 社債利息 2,000,000 / 【貸方】 普通預金 2,000,000

ケース3 決算時に償却原価法を適用した場合

決算（×1年3月31日）において、ケース1の社債の券面額と発行価額の差額分を定額法により社債金額に加算した。

【借方】 社債利息 1,000,000*2 / 【貸方】 社債 1,000,000
*2 1,000,000円=5,000,000円×（1年/5年）

【お詫びと訂正】 本紙7月号「銀行から資金を借り入れた場合は？」の解説文の上から6～8行目の「流動資産」「固定資産」は、正しくは「流動負債」「固定負債」となります。謹んでお詫び申し上げます。